宇部	工業高等	専門学校	開講年度	平成30年度(2018年度)	授	業科目	特別講義	É 戈	
科目基礎		* .			<i>,</i>					
<u>- 1 日 王 祝</u> 科目番号	CIIJIK	0064			科目区分		専門 / 必	 \修		
授業形態	講義				単位の種別と	単位数	履修単位			
		経営情報学				<u> 122</u>	腹修牢位: I			
		後期				対象学年 5 週時間数 2				
開設期 俊期 教科書/教材 なし				超时间数						
数17首/ 数 2 担当教員		松野 成悟								
		[1Z±] //X[L								
到達目標 ①経営管理	 ■に関する1	上業の動向や最 おに関する企業	新の研究につい	て説明できること。 研究について説明で						
3社会人と	こしての心格	構えと技術者の	役割について説明	明できること。						
ルーブリ	リック					_				
	理想		な到達レベルの	目安標準的な到過	標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安	
評価項目1		向や最	理に関する企業(最新の研究につい ること。	グ製 向や最新の砲	向や最新の研究について 向		経営管理に関する企業の動向や最新の研究について3/5程度説明できること。		経営管理に関する企業の 向や最新の研究について 明できない。	
評価項目2		る企業	システムや情報技術に関する企業の動向や最新の研究について説明できること。		向や最新の研究 る企業(ムや情報技術に関す の動向や最新の研究 て3/5程度説明で と。		システムや情報技術に関 る企業の動向や最新の研 について説明できない。	
評価項目3			、としての心構え の役割について説 にと。	品祭 術者の役割(この心構えと技 こついて 説明できること	術者の役	しての心割につい 度説明で	て ガラン ガ	社会人として <i>の</i> 術者の役割にご きない。	
学科の到]達目標項	頁目との関係	Ŕ							
教育方法	等									
			いいくないいこうにはい	適宜卒業研究など	の時间と扱う官	1/10/10/10	C, +101	「進しし複修	9年101年10万0	り講義を行る
授業の進め 注意点	か方・方法	う。 今年度は、 外部講師の 欠席した場 める。授業	宇部市主催の「記事のでは、講覧会にはレポートをできる。 またい はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゃく はんしゃく はんしゃく はんしょう はんしょ はんしょう はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょう はんしょう はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	19月 学 表 切 元 ス と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ト」チャレンジ を変更して行う 注意すること。 悪い者や、杜掛	講座を受 場合があ また、外 なレポー	講を優先する。 部講師の万 トを提出す	-る。 5々に対して	- 失礼のない受	講態度を求
注意点		う。 今年度は、 外部講師の 欠席した場 める。授業	宇部市主催の「記事のでは、講覧会にはレポートをできる。 またい はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゃく はんしゃく はんしゃく はんしょう はんしょ はんしょう はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょう はんしょう はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	テクノロジー×アー 養のタイトルや順序 を提出できないのて 哉をするなど態度の	ト」チャレンジ を変更して行う 注意すること。 悪い者や、杜掛	講座を受 場合があ また、外 なレポー	講を優先する。 部講師の万 トを提出す	-る。 5々に対して	- 失礼のない受	講態度を求
主意点		う。 今年度は、 外部講師の 欠席した授 める。授業 い、それで	宇部市主催の「記事のでは、講覧会にはレポートをできる。 またい はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゃく はんしゃく はんしゃく はんしょう はんしょ はんしょう はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょう はんしょう はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	テクノロジー×アー 養のタイトルや順序 を提出できないのて 哉をするなど態度の	ト」チャレンジ を変更して行う 注意すること。 悪い者や、杜掛	講座を受 場合があ また、外 なレポー 達講ずるも	講を優先する。 部講師の万 トを提出す	る。 う々に対して する者に対し	- 失礼のない受	講態度を求
主意点		う。 今年度は、 外部講師の 欠席した場める。授業 い、それで	宇部市主催の「ラ 都合により、講 合にはレポートを でに居眠りや内 もなお改善の見り	テクノロジー×アー 養のタイトルや順序 を提出できないのて 哉をするなど態度の	ト」チャレンジ を変更して行う 注意すること。 悪い者や、杜掛	講座を受診場合があれます。 またいポーミ語ずるも	講を優先する。 部講師のがトを提出すのとする。	うる。 う々に対して する者に対し 票	「失礼のない受 しては適宜注意	講態度を求 ・指導を行
注意点		う。 今年度は、 外部講師の 欠席した場 める。授業 い、それで	宇部市主催の「記都合により、講真合にはレポートを中に居眠りや内閣でもなお改善の見り	テクノロジー×アー 養のタイトルや順序 を提出できないのて 哉をするなど態度の	ト」チャレンジを変更して行う 注意すること。 悪い者や、杜操 り厳しい措置を	講座を受診 場合がありまたポート はなレインできます。 選びできます。 選びできます。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	講を優先する。 部講師のがトを提出すのとする。	う々に対してける者に対して	- 失礼のない受	講態度を求 ・指導を行
主意点		う。 今年度は、 外部講師の 欠所にた場 める。授業 い、それで	宇部市主催の「記都合により、講真合にはレポートを中に居眠りや内閣でもなお改善の見り	テクノロジー×アー 養のタイトルや順序 を提出できないので 戦をするなど態度の られない場合にはよ	ト」チャレンジを変更して行う 注意すること。 悪い者や、杜操 り厳しい措置を	講座を受診 場合がありまたポート はなレインできます。 選びできます。 選びできます。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	講を優先する。 部講師のアトを提出でのとする。	う々に対してける者に対して	「失礼のない受 しては適宜注意	講態度を求 ・指導を行
注意点		う。 今年度は、 外部講師の 欠席る。授業 い、それで 週 哲 1週 2週 3週	宇部市主催の「記都合により、講真合にはレポートを中に居眠りや内閣でもなお改善の見り	テクノロジー×アー 養のタイトルや順序 を提出できないので 戦をするなど態度の られない場合にはよ	ト」チャレンジを変更して行う 注意すること。 悪い者や、杜操 り厳しい措置を	講座を受診 場合がありまたポート はなレインできます。 選びできます。 選びできます。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	講を優先する。 部講師のアトを提出でのとする。	う々に対してける者に対して	「失礼のない受 しては適宜注意	講態度を求 ・指導を行
注意点		う。 今年度は、 外部講師の 欠のである。 授い、 である。 それで ののである。 をれで ののである。 それで ののである。 それで ののである。 それで ののである。 それで ののでる。 それで のので。 ののでる。 それで ののでる。 をれで ののでる。 ののでる。 ののでる。 ののでる。 ののでる。 のので。	宇部市主催の「記都合により、講真合にはレポートを中に居眠りや内閣でもなお改善の見り	テクノロジー×アー 養のタイトルや順序 を提出できないので 戦をするなど態度の られない場合にはよ	ト」チャレンジを変更して行う 注意すること。 悪い者や、杜操 り厳しい措置を	講座を受診 場合がありまたポート はなレインできます。 選びできます。 選びできます。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	講を優先する。 部講師のアトを提出でのとする。	う々に対してける者に対して	「失礼のない受 しては適宜注意	講態度を求 ・指導を行
主意点		う。 今年度は、 外部講師の 欠席る。それで 週 1週 2週 3週 4週 5週	宇部市主催の「記都合により、講真合にはレポートを中に居眠りや内閣でもなお改善の見り	テクノロジー×アー 養のタイトルや順序 を提出できないので 戦をするなど態度の られない場合にはよ	ト」チャレンジを変更して行う 注意すること。 悪い者や、杜操 り厳しい措置を	講座を受診 場合がありまたポート はなレインできます。 選びと 調道ごと 講義の	講を優先する。 部講師のアトを提出でのとする。	う々に対してける者に対して	「失礼のない受 しては適宜注意	講態度を求 ・指導を行
主意点		う。 今年度は、 外部講師の 欠的に が下ので がい、 一個で ので ので ので ので ので ので ので ので ので の	宇部市主催の「記都合により、講真合にはレポートを中に居眠りや内閣でもなお改善の見り	テクノロジー×アー 養のタイトルや順序 を提出できないので 戦をするなど態度の られない場合にはよ	ト」チャレンジを変更して行う 注意すること。 悪い者や、杜操 り厳しい措置を	講座を受診 場合がありまたポート はなレインできます。 選びと 調道ごと 講義の	講を優先する。 部講師のアトを提出でのとする。	う々に対してける者に対して	「失礼のない受 しては適宜注意	講態度を求 ・指導を行
主意点		う。 今年度は、 外部講師の 欠めい、 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	宇部市主催の「記都合により、講真合にはレポートを中に居眠りや内閣でもなお改善の見り	テクノロジー×アー 養のタイトルや順序 を提出できないので 戦をするなど態度の られない場合にはよ	ト」チャレンジを変更して行う 注意すること。 悪い者や、杜操 り厳しい措置を	講座を受診 場合がありまたポート はなレインできます。 選びと 調道ごと 講義の	講を優先する。 部講師のアトを提出でのとする。	う々に対してける者に対して	「失礼のない受 しては適宜注意	講態度を求 ・指導を行
主意点 受業計画		う。 今年度は、 外欠部構した場合である。それである。それである。それである。 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 8週	宇部市主催の「記都合により、講真合にはレポートを中に居眠りや内閣でもなお改善の見り	テクノロジー×アー 養のタイトルや順序 を提出できないので 戦をするなど態度の られない場合にはよ	ト」チャレンジを変更して行う 注意すること。 悪い者や、杜操 り厳しい措置を	講座を受診 場合がありまたポート はなレインできます。 選びと 調道ごと 講義の	講を優先する。 部講師のアトを提出でのとする。	う々に対してける者に対して	「失礼のない受 しては適宜注意	講態度を求 ・指導を行
主意点 受業計画		う。 今年度は、 外欠部席のに が欠めい、 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	宇部市主催の「記都合により、講真合にはレポートを中に居眠りや内閣でもなお改善の見り	テクノロジー×アー 養のタイトルや順序 を提出できないので 戦をするなど態度の られない場合にはよ	ト」チャレンジを変更して行う 注意すること。 悪い者や、杜操 り厳しい措置を	講座を受診 場合がありまたポート はなレインできます。 選びと 調道ごと 講義の	講を優先する。 部講師のアトを提出でのとする。	う々に対してける者に対して	「失礼のない受 しては適宜注意	講態度を求 ・指導を行
主意点 受業計画		う。 今年度は、 外欠的にしった。 外欠的にしった。 のでは、 のでは	宇部市主催の「記都合により、講真合にはレポートを中に居眠りや内閣でもなお改善の見り	テクノロジー×アー 養のタイトルや順序 を提出できないので 戦をするなど態度の られない場合にはよ	ト」チャレンジを変更して行う 注意すること。 悪い者や、杜操 り厳しい措置を	講座を受診 場合がありまたポート はなレインできます。 選びと 調道ごと 講義の	講を優先する。 部講師のアトを提出でのとする。	う々に対してける者に対して	「失礼のない受 しては適宜注意	講態度を求 ・指導を行
主意点 受業計画		う。 今年度は、 外欠的にし接端の が欠めい、 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	宇部市主催の「記都合により、講真合にはレポートを中に居眠りや内閣でもなお改善の見り	テクノロジー×アー 養のタイトルや順序 を提出できないので 戦をするなど態度の られない場合にはよ	ト」チャレンジを変更して行う 注意すること。 悪い者や、杜操 り厳しい措置を	講座を受診 場合がありまたポート はなレインできます。 選びと 調道ごと 講義の	講を優先する。 部講師のアトを提出でのとする。	う々に対してける者に対して	「失礼のない受 しては適宜注意	講態度を求 ・指導を行
主意点受業計画	3rdQ	う。 今年度は、 外欠部構した授業で が欠めい、 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	宇部市主催の「記都合により、講真合にはレポートを中に居眠りや内閣でもなお改善の見り	テクノロジー×アー 養のタイトルや順序 を提出できないので 戦をするなど態度の られない場合にはよ	ト」チャレンジを変更して行う 注意すること。 悪い者や、杜操 り厳しい措置を	講座を受診 場合がありまたポート はなレインできます。 選びと 調道ごと 講義の	講を優先する。 部講師のアトを提出でのとする。	う々に対してける者に対して	「失礼のない受 しては適宜注意	講態度を求 ・指導を行
主意点受業計画		う。 今年 今年 今年 今年 時の 場づいた 過 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	宇部市主催の「記都合により、講真合にはレポートを中に居眠りや内閣でもなお改善の見り	テクノロジー×アー 養のタイトルや順序 を提出できないので 戦をするなど態度の られない場合にはよ	ト」チャレンジを変更して行う 注意すること。 悪い者や、杜操 り厳しい措置を	講座を受診 場合がありまたポート はなレインできます。 選びと 調道ごと 講義の	講を優先する。 部講師のアトを提出でのとする。	う々に対してける者に対して	「失礼のない受 しては適宜注意	講態度を求 ・指導を行
主意点 受業計画	3rdQ	う。 今年部講師の 外欠めい、 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 112週 12週 13週 14週 14週 14週 14週 14週 14週 14週 14週 14週 14	宇部市主催の「5 都合により、講 合にはレポートを 中に居眠りや内閣 もなお改善の見り 受業内容 配過〜第14週 「テクノロジー×ブ	テクノロジー×アー 義のタイトルや順序 を提出できないので 哉をするなど態度の うれない場合にはよ	ト」チャレンジを変更して行う 注意すること。 悪い者や、杜操 り厳しい措置を	講座を受診 場合がありまたポート はなレインできます。 選びと 調道ごと 講義の	講を優先する。 部講師のアトを提出でのとする。	う々に対してける者に対して	「失礼のない受 しては適宜注意	講態度を求 ・指導を行
主意点 受業計画	3rdQ	う。 今年 では、 外欠めい、 週 担 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 回	宇部市主催の「記 都合により、講 合にはレポートを 中に居眠りや内閣 もなお改善の見 受業内容 記過~第14週 「デクノロジー×フ	テクノロジー×アー 義のタイトルや順序 を提出できないので 哉をするなど態度の うれない場合にはよ	ト」チャレンジを変更して行う 注意すること。 悪い者や、杜操 り厳しい措置を	講座を受診 場合がありまたポート はなレインできます。 選びと 調道ごと 講義の	講を優先する。 部講師のアトを提出でのとする。	う々に対してける者に対して	「失礼のない受 しては適宜注意	講態度を求 ・指導を行
主意点受業計画	3rdQ 4thQ	う。 今年度は、 外欠めい 週 担 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	宇部市主催の「記都合により、講覧ではレポートを中に居眠りや内閣もなお改善の見られる。 第13週~第14週(デクノロジー×)が開発を受ける。 第130~第130~第130~第130~第130~第130~第130~第130~	テクノロジー×アー 養のタイトルや順序 を提出できないので 哉をするなど態度の られない場合にはよ	ト」チャレンジを変更して行う 注意すること。 悪い者や、杜操 り厳しい措置を	講座を受診 場合がありまたポート はなレインできます。 選びと 調道ごと 講義の	講を優先する。 部講師のアトを提出でのとする。	う々に対してける者に対して	「失礼のない受 しては適宜注意	講態度を求 ・指導を行
主意点 受業計画	3rdQ 4thQ	う。 今年度は、 外欠めい 週 担 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	宇部市主催の「記 都合により、講 合にはレポートを 中に居眠りや内閣 もなお改善の見 受業内容 記過~第14週 「デクノロジー×フ	テクノロジー×アー 養のタイトルや順序 を提出できないので 哉をするなど態度の られない場合にはよ	ト」チャレンジを変更して行う 注意すること。 悪い者や、杜操 り厳しい措置を	講座を受診 場合がありまたポート はなレインできます。 選びと 調道ごと 講義の	講を優先する。 部講師のアトを提出でのとする。	う々に対してける者に対して	「失礼のない受 しては適宜注意	講態度を求 ・指導を行
主意点受業計画	3rdQ 4thQ	う。 今年度は、 外欠めい 週 担 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	宇部市主催の「記都合により、講覧ではレポートを中に居眠りや内閣もなお改善の見られる。 第13週~第14週(デクノロジー×)が開発を受ける。 第130~第130~第130~第130~第130~第130~第130~第130~	テクノロジー×アー 養のタイトルや順序 を提出できないので 哉をするなど態度の られない場合にはよ	ト」チャレンジを変更して行う注意することが表明者や、杜野の関しい措置を	講座を受診 場合がありまたポート はなレインできます。 選びと 調道ごと 講義の	講を優先する。 部講師のアトを提出でのとする。	う々に対してける者に対して	「失礼のない受 しては適宜注意	講態度を求 ・指導を行
注意点授業計画	3rdQ 4thQ	ラ。 今年度は、 外欠めい 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 テュー	宇部市主催の「記都合により、講覧会にはレポートを中に居眠りや内閣もなお改善の見られる。」を受賞内容のでは、「デクノロジー×ごりでは、「デクノロジー×ごりでは、「デクノロジー×ごりでは、「デクノロジー×ごりでは、「大きない」を受賞である。 「は、おいては、「おいては、」では、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	テクノロジー×アー 養のタイトルや順序 を提出できないので 識をするなど態度の られない場合にはよ	ト」チャレンジを変更して行う。 注意では 注意では 注意では 注意では 注意では 注意では 注意では 注意では	講座をが、ポる で	講を優先する。 部講師のアトを提出でのとする。	う々に対してける者に対して	ちに、関連事項	講態度を求・指導を行って
主意点受業計画	3rdQ 4thQ	ラ。 今年度は、 外欠めい 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 テュー	宇部市主催の「記都合により、講覧会にはレポートを中に居眠りや内閣もなお改善の見られる。」を受賞内容のでは、「デクノロジー×ごりでは、「デクノロジー×ごりでは、「デクノロジー×ごりでは、「デクノロジー×ごりでは、「大きない」を受賞である。 「は、おいては、「おいては、」では、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	テクノロジー×アー 養のタイトルや順序 を提出できないので 識をするなど態度の られない場合にはよ アート」チャレンシ マート」チャレンシ はい トの実施 世目標 学習内容の到達目	ト」チャレンジを変すること を変すること 注意である。 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	講座をが、ポる できない はまない はい	講を優先する。 部講師提出る。 の到達目 内容を作成	う々に対してける者に対して	た 大礼のない受力では適宜注意 ちに、関連事項 対達レベル	講態度を求・指導を行って
注意点受業計画	3rdQ 4thQ	ラ。 今年度は、 外欠めい 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 テュー	宇部市主催の「記都合により、講覧会にはレポートを中に居眠りや内閣もなお改善の見られる。」を受賞内容のでは、「デクノロジー×ごりでは、「デクノロジー×ごりでは、「デクノロジー×ごりでは、「デクノロジー×ごりでは、「大きない」を受賞である。 「は、おいては、「おいては、」では、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、「ないでは、」では、「ないでは、」では、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、」は、「ないでは、「ないでは、」は、「ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	テクノロジー×アー 気のタイトルや順序 を提出できないので 識をするなど態度の られない場合にはよ アート」チャレンシ アート」チャレンシ 世間標 学習内容の到達目 法令やルールを選 他者のおかれてい 技術が社会や自然	ト」チャレンジを変することは を変することは でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 にでは、 ででは、 にでは、 ででは、 にでは、 ででは、 にでは、 ででは、 にでは、 ででは、	講座をが、ポるで、調講が、できない。は、ため、から、は、ため、は、できない。は、ため、は、ため、は、ため、は、ため、は、ため、は、ため、は、ため、は、ため	講を優先する。 高部 講師提する。 の	景とめるとさ	で失礼のない受しては適宜注意 もに、関連事項 到達レベル 3 3	講態度を求・指導を行って
注意点受業計画	3rdQ 4thQ	う。 今 今 か か か か か か か か	宇部市主催の「記都合により、講覧会にはレポートを開いた内閣を関係では、1000円では、1	テクノロジー×アー 気のタイトルや順序 を提出できなど態度の がい場合にはより ボをするい場合にはより アート」チャレンション デート」チャレンション 世間標 学習内容の到達度 法令やルールを適 他者のおかれてい 技術が社会責任を	ト」チャレンジを変することができません。ことは、ことができません。ことは、ことは、ことは、ことは、ことは、ことは、ことは、ことは、ことは、ことは、	講像まな講 週 講よれ る。 動を る。 動を る。 が 認 き	講を優先する。 高部	であるととでする。	大礼のない受しては適宜注意 もに、関連事項 引達レベル 3 3 3	講態度を求・指導を行って
注意点授業計画を対しています。	3rdQ 4thQ	う。 今 今 か か か か か か か か	宇部市主催の「記都合により、講覧会にはレポートを開いた内閣を関係では、1000円では、1	テクノロジー×アー 養のタイトルや順所で 競提出でなど態度の おれない場合にはより アート」チャレンシー アート」チャレンシー 大の実施 管習内やルールを 世者のが社会や では、 大の表のの到達 と では、 大の表ののでは、 では、 大のでは、 では、 大のでは、 では、 大のでは、 では、 大のでは、 では、 大のでは、 では、 大のでは、 では、 大のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ト」チャレンジを意識を関する。 「特別では、 「本語」では、	講場まな講 週 講レ れた 効き アデ 座 あ外 - も と の - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	講を優の部との内トのの内トのの内トのの内トのの内トのの内トのの内トのの内トのの内トのの内ト	である。 でする。 でする。 できる。	大礼のない受しては適宜注意 もに、関連事項 到達レベル 3 3 3	講態度を求・指導を行って
注意点授業計画	3rdQ 4thQ	う。 今 今 か か か か か か か か	宇部市主催の「記都合により、講覧を持つにより、講覧を持つには日報の見られては、日報のでは、日報のでは、日本のではは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、	テクノロジー×アー 気のタイトルや順序 を提出できなど態度の がい場合にはより ボをするい場合にはより アート」チャレンション デート」チャレンション 世間標 学習内容の到達度 法令やルールを適 他者のおかれてい 技術が社会責任を	ト」チャレスでは、 ・ では、 ・ でも、 ・ で	講場まな講 週 講	講る部トの の対す のから のから のから のから のから のから のから のから	できる。	世界では、関連事項 対応では、関連事項 対応では、関連事項 対応では、関連事項 は、関連事項 は、関連事項 は、関連事項 は、関連事項 は、関連事項 は、関連事項 は、関連事項 は、関連事項 は、関連事項 は、関連事項 は、関連事項 は、関連事項 は、関連事項 は、関連事項 は、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	講態度を求・指導を行って

分野横断的能力	カ 0	0	0	0	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	10	00
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	10	00
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合	計
評価割合	·	•						
			コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき 能力」の必要性を認識している。				3	
			企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。				3	
			高専で学んだ専門 活用・応用されて(分野・一般科目の知 いるかを認識できる	1識が、企業等でと 3。	かように	3	
			技術者が知恵や感を行った事例を挙		申などを駆使して実	践な活動	3	
			技術者として、幅度とされることを認		解決力、社会貢献な	どが必要	3	
			社会人も継続的に)している。	成長していくことだ	「求められているこ	とを認識	3	
			企業活動には品質、ことを認識している	、コスト、効率、A る。	期などの視点が重	要である	3	
			調査、インターン: の抱える課題を説	シップ、共同教育等 明できる。	等を通して地域社会	・産業界	3	
			企業が国内外で他るか説明できる。	社(他者)とどのよう	な関係性の中で活	動してい	3	
			企業には社会的責				3	
			企業における福利の進路としての企			から自己	3	
			企業人としての責ん	任ある仕事を進める	らための基本的な行	動を上げ	3	
				術者・研究者等の 実		00	3	
			高専で学んだ専門を	分野・一般科目の知 されるかを説明でき	 □識が、企業や大学	等でどの	3	
			これからのキャリ: 難に直面したときできることを多面的に	アの中で、様々な団 の対処のありかた(判断できるなど)を	難があることを認 一人で悩まない、値 認識している。	職し、困 優先すべ	3	